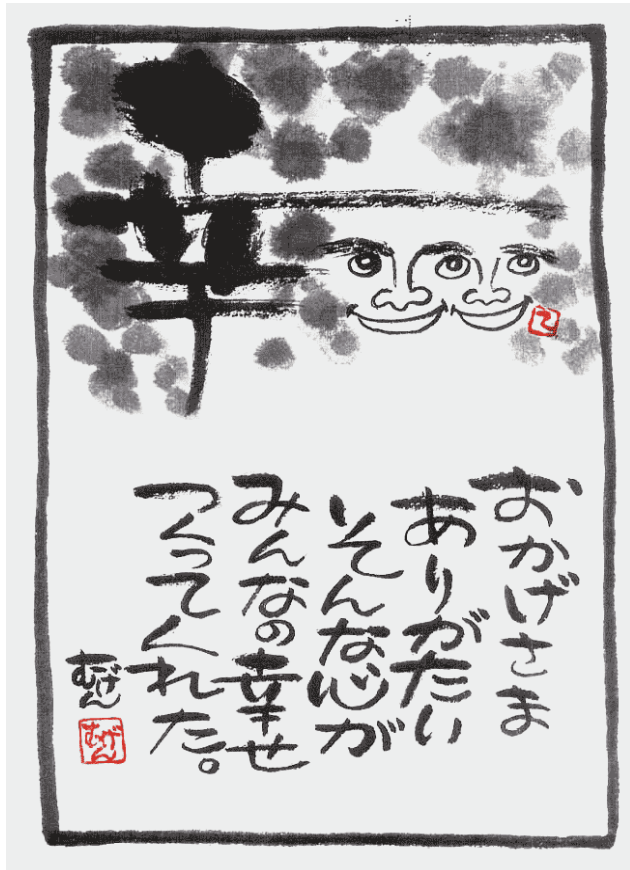


住まいづくりは幸せづくり

今月の写真



ちょっと立ち寄った栃木市の家並みです



川浴いに建ちならぶ古い蔵(上記)

ひとりごと

ニュースレター woody-akiba

春がやってきました。我が家の荒れた敷地には、鳥が落とした種から芽吹いたのでしょうか、もみじや山椒、榎、杉、などが雑草に混じって成長していました。踏み潰さないように気をつけながら歩くのは楽しい気分です。

さて、今月上棟が行われました。花吹雪舞う下での建て方はとても美しく印象的な風景でした。作業は二日にわたって行われて無事上棟式となりました。設計は設計アトリエの瀬野和弘先生、テレビ朝日「劇的ビフォーアフター」に3度出演している建築家です。建築雑誌を賑わし、「建築知識」など専門家向けの雑誌でもご活躍の方です。以前から面識があり、このたび邸の工事を担当させていただくことになりました。

春は短くあっという間に夏がやってきます。じめじめした梅雨を迎えることとなります。夏になる前に少しでも時間をつくって長い間会う機会のなかった友人に会いたいと思っています。誰でもお忙しいのは同じですが、特に休みが少ないのが建設業界です。季節感とともに時間も大切にして心豊かな春を過ごしたいと思えます。なんだかおやじ臭くなってきました。

花吹雪舞う下で 上棟作業



花吹雪が彩りを添える下で上棟作業



大柱を打ち込んでいるところ



上棟作業も完了



記念写真

伝統の継ぎ手をご紹介



手加工により刻まれた木材



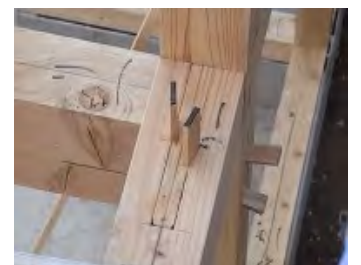
柱と土台 込栓



居胴差と通柱 込栓・楔



登梁



車知柱と割楔

この市原の家はテレビ朝日「劇的ビフォーアフター」などメディアでも活躍めざましい瀬野和弘先生率いる「設計アトリエ」さんの設計です。瀬野先生らしい伝統工法にこだわった木組みを使用した住まいです。

いまや耐震性能を確保する上で、金物や構造用合板に頼らずに住まいを新築することはむずかしいことです。しかし、建物の軸組の基本としてが金物を使わなくても木と木をつなぎ、ゆれや変形に対応する伝統の継ぎ手を用いていることが建物の耐久性・長命化に大きく寄与することは疑いの余地がありません。

こちらの住まいは防音設備を整えたスタジオや中庭の空間、広い展望バルコニーをもつ、完成が楽しみな住まいです。

発行者 秋葉建設株式会社 秋葉 忠夫
〒289-2163 千葉県匝瑳(そうさ)市南神崎52-1
電話0479-72-0814 FAX0479-72-0824
URL <http://www.woody-akiba.com>
Email master@woody-akiba.com